

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・R5.10月に開催予定の「ツール・ド・九州2023」に向けて、ツール・ド・九州2023大分ステージ推進委員会を設立し、大会の機運醸成や大会コースの調整を行った。 ・推進委員会内の機運醸成部会や地域プロジェクトチームを活用しながらイベントを計画・開催し、年間を通して約1,500人がイベントに参加したほか、SNS等も活用して大会の周知を行った。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・県内のプロスポーツチームが学校等への訪問交流を実施することにより、選手と子どもたちとの交流機会やスポーツチームの情報発信の場を創出することができた。 ・県内各地で行った出張型スケートボード教室には208人が参加した。また、県内初開催となったキッズ向けスケートボードコンテストには、136人が参加、2,000人が観覧し、スポーツに親しむ機運の醸成が図られた。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・元ラグビー日本代表キャプテンの廣瀬俊朗氏と連携し、ラグビーの持つ多様性や共生等について学ぶ講演会や、タグラグビー・車いすラグビーなど様々なラグビーを楽しむ体験会を開催した。また、MR(複合現実)やAR(拡張現実)などの先端技術を活用したラグビー体験会を県内各地のイベント会場等で10回実施し、ラグビー未経験者や観戦したことのない人にもラグビーの魅力伝えることができた。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(4年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①②	ツール・ド・九州推進事業	101.7	356
②	スポーツによる地域の元気づくり事業	105.3	356
	大分スポーツ地域活力創出事業	61.4	357
③	ラグビーワールドカップ2019レガシー継承事業	56.9	357

【VI. 施策に対する意見・提言】

○第8回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(R5.2)
 ・大分のスポーツを盛り上げるにはラグビーに力を入れるべき。

○R4年第3回定例会(R4.9)
 ・ツール・ド・九州2023について、戦略的な情報発信や会場の盛り上げ、集客を行い、地域の元気づくりへとつなげていくことが重要。

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
C	<ul style="list-style-type: none"> ・ツール・ド・九州2023の開催に合わせ、参加チームの合宿誘致をはじめ、観戦に訪れた方々に対するおもてなしを充実させ、交流人口の拡大に取り組む。また、本大会を機としたサイクリストの誘客にも繋げるため、インフルエンサー等を活用した県内外への情報発信を強化する。 ・県内の優れたスポーツ施設や合宿受入実績を活かし、県と市町村、競技団体等が一体となって、スポーツ合宿の誘致に取り組む。 ・より多くの県民がスポーツに親しむ機運を醸成するため、プロスポーツチーム等による小学校や総合型地域スポーツクラブへの訪問交流や、大分駅構内のデジタルサイネージを活用してプロスポーツチームの魅力発信する。 ・ラグビーワールドカップ2019のレガシー継承をさらに推し進めるため、横浜キヤノンイーグルスや大分県ラグビーフットボール協会等との連携を強化し、大分県ラグビーフェスティバルやラグビークリニック等の開催に取り組む。